

下水道の整備につきましては、東栄、中之町と諏訪、神戸の3地区において工事を行います。対象となる広さは9・6ヘクタールです。これにより、町全体の46%が供用開始可能な地域となります。

目標 2 にぎわいを生み出す 個性豊かなまち

次に「目標2 にぎわいを生み出す個性豊かなまち」です。

県営名古屋空港周辺は、国際戦略総合特別区域「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の核となる地域です。

この国家プロジェクトの進展に伴い、本町としても土地利用、交通、観光など、まちづくりへの様々な影響を勘案しながら、国・県・事業者と連携し、施策を展開していくことが重要です。これらの施策を推進するために、新たに地域振興課を設置します。

今年一月、名古屋空港ターミナルビルは、リニューアルされました。売店スペースは広げられ、新たにカフェを併設したコンビニエンスストアも開設され、ターミナルビルの利便性は一層高められました。

三月には、県営名古屋空港からの発



着便として、新たに北九州便と出雲便の就航が決定しています。これにより、県営名古屋空港からの発着便は、9都市9路線となり、ジェイエア就航時と同様の路線数が運航されることとなります。また、年間利用者は、平成二十六年には65万人を突破する見込みであり、ジェイエア就航時の43万人を大きく上回る見込みです。引き続き、県営名古屋空港を利用された町民の方を対象とした、航空機の利用助成を行い、名古屋空港の利用促進に努めてまいります。

平成二十六年、本町は、5回目の開催となる「ゆるキャラグランプリ2014」に初参加しました。本町のマスコットキャラクター「地空人くん」

は、全国1,700体中561位と、まずまずの成績を収めることができました。

平成二十七年度は、「地空人くん」をより積極的に活用し、本町を内外の多くの方々にPRしてまいります。

ピンバッジ、幟端、シール、エコバッグといった啓発資材を作成し、豊かな大地が芽吹く、やすらぎの「地」の遺伝子、羽ばたく翼を得て、活力のある「空」の遺伝子、そして先人から脈々と伝わる伝統の「人」の遺伝子とともに、本町の知名度をより一層高めるためタウンセールスを行ってまいります。

本町の歴史は、豊かな田園とともに刻まれてきました。名古屋市近郊に残る豊かな田園風景は、豊山の宝であり、



誇りです。

小牧基地内の豊山用排水路改修工事、神明ポンプ場の電気設備の更新など、農業の振興にも努めてまいります。

また平成二十七年度には、全国都市緑化あいちフェアが開催されます。本町の神明公園は、このフェアのサテライト会場として選出されました。大会を盛り上げるため、神明公園に新たにバラ園を設けます。

町外からも多くの方々に訪れていただけでなく、イベント終了後も神明公園を彩る美しい空間となるよう整備を進めてまいります。

目標 3 安全・安心で住みやすさを 実感できるまち

「目標3 安全・安心で住みやすさを実感できるまち」です。

平成二十七年は、東日本大震災から四年、東海豪雨から十五年、阪神・淡路大震災から二十年にあたります。

四月からは、新組織の防災安全課が、本町の災害・安全対策の司令塔となります。風水害をはじめとする、あらゆる災害から町民の生命や財産を守るため、危機管理体制の強化を図るとともに、防災教育の充実などにも努めてま